

開講期	2025年度後期			単位数	2.0単位
科目[授業]名	7804 入門簿記B			開講形態 (隔週 偶数 = 隔週2コマ)	週間授業
種別	なし			定員	
履修可能学年	1年/2年/3年/4年	重複履修	×	全学開講	○
曜日時限	金曜2限				
教室	J401教室				
代表教員	海老原 諭				
担当教員	海老原 諭				
テーマと到達目標	この授業では、小規模な株式会社において行われる簿記のうち、現金や商品の管理、代金決済が取引と同時に行われない場合（前払い・後払い）の処理、複数の会計期間にまたがる取引の処理、精算表を用いた記録の集計などについて学習する。入門簿記Aとあわせて履修することで、日本商工会議所主催簿記検定3級相当の学習範囲がカバーされる。				
概要	<ol style="list-style-type: none"> この授業は、講義形式で行う。講義は板書によって行い、スライド資料の配布は行わない。 第6回および第11回の講義終了時に、それまでの学習内容の習熟度を確認するため確認テストを行う。確認テストはwako portal上で配布、回収し、提出期間は1週間とする。 				
対面科目/オンライン科目	対面科目				
授業計画				担当教員（複数の教員が担当する場合のみ記載）	授業方式
第1回	オリエンテーション				対面授業
第2回	現金の管理				対面授業
第3回	仮払金と仮受金、立替金と預り金				対面授業
第4回	小切手、約束手形				対面授業
第5回	電子記録債権と電子記録債務、当座借越				対面授業
第6回	貸付金と借入金、手形貸付金と手形借入金				対面授業
第7回	金銭債権の貸倒れ、保証金				対面授業
第8回	有形固定資産の売却、月次決算を行う場合の減価償却				対面授業
第9回	第三者から商品の販売代金を受け取る場合の処理				対面授業
第10回	期末商品棚卸高の算定				対面授業
第11回	伝票				対面授業
第12回	決算手続 見越しと繰延べ				対面授業
第13回	精算表(1) 精算表の意義				対面授業
第14回	精算表(2) 8桁精算表				対面授業
第15回	報告式の財務諸表				対面授業
成績評価の基準	<ol style="list-style-type: none"> 平常点（2回の確認テストの得点による）30%、期末試験70%の割合で計算した素点をもとに評価する。 出席数が講義実施回数の3分の2に満たない場合、期末試験において不正行為があった場合は、素点にかかわらず不可とする。 				
履修にあたっての留意事項	<ol style="list-style-type: none"> 授業には教科書・問題集・ノート・電卓を持参すること。 期末試験は電卓以外の持ち込みを不可とする。 この授業では出欠確認をwako portalのスマホ出席機能と紙の出席票を併用して行う。 この授業では公欠、不欠席の取り扱いはしない。どのような理由による場合も欠席は欠席として取り扱う。 講義内容について質問等があれば、wako portalのQ&A機能を使用して行うこと。 この授業では教科書および問題集の第15章以降を学習する（第1章から第14章までは入門簿記Aで学習済）。 すでに教科書および問題集を保有している者、前期の入門簿記Aを受講する者は、教科書および問題集を新たに購入する必要はない。 				
オンライン授業方式(同時双方向型・オンデマンド型)の詳細					

【種別】人数制限（抽選）授業の優先条件	
---------------------	--

◆教科書・教材

教科書以外に必要な教材費用	実務電卓（12桁を入力できるもの）を所有していない者は購入すること。電卓のおすすめについては、オリエンテーション時に説明を行う。		
教科書	海老原論『初級簿記教本（第2版）』創成社、2024年。 海老原論『初級簿記教本・問題集（第2版）』創成社、2024年。	教科書(ISBN)	9784794415967 9784794415974
参考文献	なし	参考文献(ISBN)	